

## 林学



農林水産部 森林整備課  
森林資源計画班  
技師 小川 瑞樹

### 経歴 採用6年目

- H28年 農林水産部 森林整備課  
森林資源計画班
- H25年 入庁  
平鹿地域振興局 農林部  
森づくり推進課 森林振興班
- H21年 団体職員  
・支障木伐採担当  
・測量・現場管理補助

### ある日のスケジュール

- 8:10 出勤(徒歩)
- 8:30 朝礼、メールチェック
- 9:00 委託業者と打合せ  
(業務の進め方や疑問点など)
- 12:00 昼食
- 13:00 メールチェック
- 13:30 打合せ内容の整理・確認
- 15:00 打合せで懸案となった案件に  
対する回答資料作成
- 17:00 森林情報データの更新作業
- 19:00 退庁
- 19:30 行きつけのお店で一杯

### わたしの職場はこんなところですよ

森林整備課は、課内の統括や林業大学校をはじめとした担い手育成、水と緑の森づくり税を活用した県民などによる森づくり活動を推進する「調整・担い手班」、森林整備に関する計画を編成し、森林情報を管理する「森林資源計画班」、保安林管理や森林病害虫対策など健全な森林の維持管理を担う「森林管理班」、治山施設や林道を整備し、山地災害の防止や木材搬出の効率化に貢献する「治山・林道班」の各班4~8名で構成され、森林を未来に引き継いでいくための仕事をしています。

明るい雰囲気なのでコミュニケーションが取りやすく、ベテラン職員の方々に支えられながら若手も活躍できる職場だと思います。

### わたしは今、こんな仕事をしています

私は「森林資源計画班」に所属し、主に森林所有者や樹種などの森林情報を管理するシステムである森林GISの維持管理と、これを利用した森林情報の交付や更新を担当しています。

森林情報は、森林組合や民間林業事業体など林業に携わる方々が仕事をする際に活用する重要な情報ですので、より正確な情報を必要なときに提供できるように意識しています。

### 秋田県のここが好き！

食べ物が美味しいところです。お米やお酒、野菜、海産物など美味しいものがたくさんあります。住んでいるとなかなか気づきにくいですが、県外の知り合いや仕事などで一緒する方々からは「秋田の食べ物、お酒は本当に美味しい！」と言われます。

### 林学職のやりがいはここ！

森林に関する様々な制度や技術の知識・経験をもって、県民の生活を守るだけでなく、市町村や県民の方々の取組を応援する仕事です。責任や難しさもありますが、国・市町村・県民の橋渡し役としてそれぞれの動きや取組を知ることができ、これを活かして県全体の視点から施策を立案し、取り組めることが県職員ならではのやりがいもあります。

### 採用されて6年、どんな変化、成長がありましたか？

上司や同僚だけでなく、他都道府県職員や業界団体、県民の方々と接しながら仕事をする中で、自分が担当している仕事内容が十分であるか俯瞰しつつ、今度どのようにしていくべきかなど、自分なりの考えを持って仕事に臨む姿勢が出てきたと感じています。

### 採用試験の準備はどのようにしましたか？

試験勉強に割く時間を、短い時間でも必ず作りました。過去問や林業白書の内容を暗記し、できなかった問題や忘れた学習内容は、覚えるまで反復しました。また、論文試験への対策を意識して、林業白書のトピックスや資料、ニュースを定期的に確認していました。

面接は、知り合いにお願いして模擬面接を繰り返し行い、話す態度や受け手が理解できる回答になっているかなどをチェックしてもらいました。

### 秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

現在、ICT技術を活用した林業や木材の新しい利用方法の開発など、様々な業界が林業の新しい可能性を見いだしています。ますます面白くなる林業の世界で、秋田県職員がやるべき仕事があります。一緒に秋田の林業を盛り上げていきましょう！

# 林学



秋田地域振興局 農林部  
森づくり推進課 森林整備第二班  
技師 小塚 大幸

## 経歴 採用7年目

- H29年 秋田地域振興局 農林部  
森づくり振興課  
森林整備第二班
- H25年 鹿角地域振興局 農林部  
森づくり振興課 森林整備班
- H24年 入庁  
農林水産部 森林木材産業課  
間伐・造林班

## ある日のスケジュール

- 8:15 出勤(徒歩)
- 8:30 朝礼・朝コミ  
メールとスケジュールの確認
- 9:00 山地災害危険地区の点検
- 12:00 昼食
- 13:30 治山事業施工地にて段階確認
- 15:00 帰庁
- 15:15 点検結果及び段階確認結果  
のとりまとめ
- 16:00 施工業者と工事の進捗状況に  
ついて打合せ
- 17:00 翌日の会議の書類準備、  
スケジュール確認
- 17:45 退庁
- 19:00 読書

## わたしの職場はこんなところですよ

森づくり推進課は、その名の通り、森林を健全に守り育てるとともに林業・木材産業等の推進を図るため様々な分野の仕事をしています。

保安林に関する許認可事務、森林組合等林業事業者への指導、鳥獣保護・狩猟等を担当する「林業振興班」、県営林の管理や松くい・ナラ枯れ対策、造林・間伐補助等を担当する「森林整備第一班」、治山工事・林道工事の発注や、施設の維持・管理、災害復旧等を担当する「森林整備第二班」の3班体制で、各班4～6名で構成されています。

年齢層は幅広いですが、気さくな職員が多く、とても馴染みやすい職場です。

## わたしは今、こんな仕事をしています

「森林整備第二班」に所属し、主に山地災害の未然防止や、異常気象等によって発生した山地崩壊の早期復旧を図る、治山ダム工事や山腹工事などの治山事業を担当しています。具体的には、測量・設計業務や工事の発注、受注業者の指導、災害時の対応など様々です。

山林が相手なので想定外の事態も多く起こりますが、先輩・同僚に助けられながら、業務に取り組んでいます。

## 秋田県のここが好き！

私は秋田の方言が大好きです。「んだ」や「へば」、「ねねね」等、独特の言葉が多い秋田弁。あたたかな県民性が感じられ、聞かたびに癒やされます。

## 林学職のやりがいはここ！

高校3年間で学んだ林学に関する専門知識を活かした仕事ができるところが、魅力と考えています。

林学職は分野が幅広く、自然を相手にする場面も多いため高い専門性が求められ、大変な業務ではありますが、そのやりがいも多く感じられます。

## オフは何をしていますか？

アウトドアが好きなので、春は山菜採り、夏秋は釣り・バーベキュー、冬はスノーボードと時期に合わせた趣味に没頭しています。仕事が忙しい時期はありますが、休むときはしっかりと休んでリフレッシュしています。

## 採用試験の準備はどのようにしましたか？

高校3年生の夏休みから、学内の公務員補習を受けました。特に専門に関しては1年生から3年生まで学んだ授業のノートをくまなく見返しました。1次試験合格後は、模擬面接を何度も受け、本番では落ち着いて受けることができました。

## 秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、一言！

秋田県が好きで、秋田県のために仕事をしたいと思う方は、ぜひ受験して欲しいと思います。秋田についてもっと深く学ぶ事ができ、もっと秋田が好きになります！